

tapestry

本資料は、タペストリー・インクが2025年11月6日(木)午前7時(日本時間: 同日午後9時)に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

<報道関係者各位>

タペストリー・インク 2026 年度第 1 四半期の業績を発表 通期業績見通しを上方修正

予想を上回る成長で記録的な第 1 四半期収益及びEPS を達成

- 前年同期比 13%増(恒常通貨ベースで 12%増)となる 17 億ドルの収益
- コーチの 22%増(恒常通貨ベースで 21%増)が牽引し、プロフォーマ収益の 16%成長を達成
- 売上総利益率の上昇及び販管費のレバレッジが寄与し、営業利益率が GAAP ベースで 260 ベーシスポイント、非 GAAP ベースで 200 ベーシスポイントそれぞれ拡大
- GAAP ベースの希薄化後 EPS が前年同期比 61%増の 1.28ドル、非 GAAP ベースでは前年同期比 35%増の 1.38ドル
- 好調なバランスシートと堅調なフリーキャッシュフローの創出により 2026 年度の株主還元は 13 億ドルの見込み
- 2026 年度収益予測を上方修正

[こちら](#)のリンクから各ブランドの解説を含む 2026 年度第 1 四半期の業績説明資料(英語のみ)がダウンロードできます。

ニューヨーク 2025 年 11 月 6 日 – ニューヨークに本拠地を置き、アイコニックなアクセサリー & ライフスタイル ブランドを展開するグローバル企業 タペストリー・インク(NYSE: TPR)は、本日、2025 年 9 月 27 日に終了した 2026 年度第 1 四半期の業績を報告しました。

タペストリー・インク最高経営責任者 ジョアン・クレヴォイセラのコメント

「9月に開催したインベスター・デイで、タペストリー・インクのアイコニックなブランドを新たな世代の消費者に届け、持続的な成長を推進するための大胆なビジョン、Amplify計画を発表しましたが、第1四半期の好業績はこの新たな章の力強い幕開けを示すものです。私たちの的を絞った戦略遂行により、世界中のお客様にクリエイティビティーとクラフトマンシップをもたらし、予想を上回る増収増益を達成しました。この力強い基盤を背景に通期業績見通しを上方修正することは、当社の優位性が構造的で持続可能であることを強調するものです。この確かな実績、複合的な成長と長期的な株主価値実現への揺るぎないコミットメントにより、私たちは明るい未来への確信を深めています」

タペストリー・インク2026年度第1四半期業績に関するハイライト(未監査) - 単位は100万ドル(ただし1株当たりの数値を除く)

	下記期日に終了の四半期		恒常通貨ベースの増減率	
	2025年9月27日	2024年9月28日	増減率	増減率
売上高	1,704.6	1,507.5	13 %	12%
プロフォーマ財務情報の売上高 ¹	1,690.0	1,453.8	16 %	16%
売上総利益	1,300.5	1,134.9	15%	
売上総利益率	76.3%	75.3%	100 bps	
非GAAPベースの売上総利益 ²	1,292.8	1,134.9	14%	
非GAAPベースの売上総利益率 ²	76.5%	75.3%	120 bps	
営業利益	328.2	252.0	30%	
営業利益率	19.3%	16.7%	260 bps	
非GAAPベースの営業利益 ²	353.9	285.4	24%	
非GAAPベースの営業利益率 ²	20.9%	18.9%	200 bps	
希薄化後 1 株当たり利益	1.28	0.79	61%	
非GAAPベースの希薄化後 1 株当たり利益 ²	1.38	1.02	35%	

¹ プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、上掲の両期間におけるスチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。財務諸表2をご覧ください。

² GAAPから非GAAPへの調整については財務諸表3をご覧ください。

プロフォーマ収益情報の概要(未監査) - 単位は 100 万ドル

	2025年9月27日に 終了の四半期	増減率	
		報告書	恒常通貨
ブランド			
コーチ	1,429.8	22 %	21 %
ケイト・スペード	260.2	(8)%	(9)%
地域¹			
北米	1,068.8	18 %	18 %
中国全体 ²	269.1	20 %	19 %
日本	108.5	(7)%	(10)%
その他アジア諸国 ²	90.5	4 %	3 %
欧州	125.2	39 %	32 %
その他 ²	27.9	4 %	4 %
タペストリーのプロフォーマ収益情報	1,690.0	16%	16%

¹ プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、スチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。財務諸表2をご覧ください。

² 各地域に含まれる国については下記の「タペストリー・インクについて」をご覧ください。

タペストリー・インク2026年度第1四半期の戦略に関する主なハイライト

タペストリー・インクは以下の4本の柱に焦点をあてた「Amplify」成長戦略を進展させました。

- 消費者とのエモーショナルなつながりを構築
- ファッションの革新性と製品の卓越性を向上

- **魅力的なエクスペリエンスを提供しグローバルな成長を推進**
- **人材のパワーを最大化**

2026年度第1四半期の主なハイライトは以下の通りです。

- **グローバルで220万人を超える新規顧客を獲得**し、その約35%が前年を上回る増加を示したZ世代です。
- **平均小売単価が2桁台半ばの上昇となったコーチのハンドバッグの増収に牽引され、レザー製品全体の成長が加速**しました。これは魅力的なイノベーションと製品全体が幅広く支持されたことを反映しています。
- **主要マーケットで予想を上回る成長を加速**。北米(18%増)、ヨーロッパ(32%増)、中国全体(19%増)を含むAPAC全体(8%増)がプロフォーマ財務情報の恒常通貨ベースで増収となりました。また、**コーチは2026年度第1四半期に恒常通貨ベースで21%の成長を果たしました**
- **D2C全体の売上高はプロフォーマ財務情報の恒常通貨ベースで16%増**となり、これにはデジタルと世界中の実店舗の両方の2桁台半ばの売上増を含みます。クリエイティビティーとタペストリー・インクのデータアナリティクス機能の融合に支えられ、**両チャンネルで強力な収益力向上を実現**しました。

株主還元プログラム

好調な業績、堅調なバランスシート、潤沢なフリーキャッシュフロー創出、今後の成長見通しを踏まえ、タペストリー・インクは配当と自社株買いによって2026年度に13億ドル、つまり予想される調整後フリーキャッシュフローの約100%相当の株主還元を予定しています。

- **配当金の支払い**:タペストリー・インクの取締役会は2025年12月5日の営業終了時点の株主名簿記載の株主に対し、2025年12月22日に1株当たり0.40ドルの四半期現金配当を行うと宣言しました。2026年度、タペストリー・インクは引き続き1株当たり年間配当金は1.60ドルと予想しています。
- **自社株買戻しプログラム**:タペストリー・インクは当初見込みの8億ドルから引き上げ、2026年度中に約10億ドルの普通株式買戻しを実施する予定です。2026年度第1四半期中、タペストリー・インクは5億ドルを支出し、1株当たりの平均取得単価約106ドルで470万株を超える普通株式を買戻しました。

非GAAPの調整

2026年度第1四半期中、タペストリー・インクは税引前利益を2,600万ドル、純利益を2,200万ドル、希薄化後1株当たり利益を0.10ドルそれぞれ減少させた特定の項目を計上しました。これはスチュアート・ワイツマンブランドの売却に伴う非経常的な買収及び売却費用、非経常的な組織効率化費用に関連しています。

なおスチュアート・ワイツマン ブランドの売却は2025年8月4日に完了しており、2026年度の所有期間における当該ブランドの業績は、2026年度第1四半期のGAAPベースの業績に含まれていますが、非GAAPベースの業績からは除外されています。

GAAPから非GAAPへの調整の詳細については、本プレスリリースの財務諸表をご覧ください。

2026 年度第 1 四半期の業績

- **純売上高:**GAAPベースで合計17億ドル、名目ベースで前年同期比13%増、恒常通貨ベースで前年同期比12%増となりました。スチュアート・ワイツマン ブランドの影響を除いた純売上高は合計16億9,000万ドルで、プロフォーマ財務情報における成長率は名目ベース及び恒常通貨ベースで約16%でした。当四半期中のドル安による約70ベースポイントの為替差益が反映されています。
- **売上総利益:**GAAPベースで合計13億ドル、売上総利益率は76.3%となりました。非GAAPベースの売上総利益は合計12億9,000万ドル、売上総利益率は76.5%となりました。なお前年同期のGAAPベース及び非GAAPベースの売上総利益は11億3,000万ドル、売上総利益率は75.3%でした。非GAAPベースの売上総利益率が120ベースポイント上昇したのは、業務改善による約170ベースポイントと、スチュアート・ワイツマン ブランドの売却による70ベースポイントの好影響が寄与していますが、関税及び諸税による70ベースポイント、為替による60ベースポイントのマイナス影響によって一部相殺されています。
- **販管費:**GAAPベースで合計9億7,200万ドル、対売上比の販管費率は57.0%となりました。非GAAPベースでの販管費は合計9億3,900万ドル、対売上比の販管費率は55.6%となりました。なお前年同期の販管費はGAAPベースで合計8億8,300万ドル、対売上比の販管費率は58.6%、非GAAPベースで合計8億5,000万ドル、対売上比の販管費率は56.4%でした。
- **営業利益:**GAAPベースで3億2,800万ドル、営業利益率は19.3%、非GAAPベースでは3億5,400万ドル、営業利益率は20.9%となりました。なお前年同期の営業利益はGAAPベースで2億5,200万ドル、営業利益率は16.7%、非GAAPベースで2億8,500万ドル、営業利益率は18.9%でした。非GAAPベースの営業利益率における200ベースポイント上昇にはスチュアート・ワイツマン ブランドの売却による110ベースポイントの好影響が含まれています。
- **支払(受取)利息の総額:**GAAPベース及び非GAAPベースで1,300万ドルの支払利息。なお前年同期はGAAPベースで3,100万ドルの支払利息、非GAAPベースでは700万ドルの受取利息でした。
- **その他の収入:**前年同期の400万ドルに対して、300万ドルとなりました。
- **純利益:**GAAPベースで2億7,500万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.28ドル、非GAAPベースでは2億9,700万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.38ドルとなりました。なお前年同期のGAAPベースの純利益は1億8,700万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.79ドル、非GAAPベースの純利益は2億4,200万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.02ドルでした。2026年度第1四半期の税率はGAAPベー

スで13.8%、非GAAPベースで13.7%です。なお前年同期の税率はGAAPベースで17.3%、非GAAPベースで18.5%でした。

貸借対照表とキャッシュフローに関する主なハイライト

- **現金及び現金等価物、並びに短期投資**の合計は7億4,300万ドル、**借入金残高の合計**は26億4,000万ドルで、これには当社が新たに設定したコマーシャルペーパー(CP)プログラムに基づく2億4,000万ドルの借入金残高が含まれています。調整後EBITDAに対する総負債に基づくレバレッジ比率は2026年度第1四半期末時点で1.5倍でした。
- 2026年度第1四半期末時点の**棚卸資産**は、前年同期末の棚卸資産10億3,000万ドルに対して、10億2,000万ドルとなりました。
- 2026年度第1四半期の**営業活動によるキャッシュフロー**は前年同期の1億2,000万ドルの流入に対して1億1,300万ドルの流入でした。2026年度第1四半期の**調整後フリーキャッシュフロー**は前年同期の4,100万ドルの流入に対して1億300万ドルの流入でした。
- 2026年度第1四半期の**設備投資及びクラウド化に関連する導入費用**は前年同期の3,000万ドルに対して3,800万ドルでした。

業績見通し

タペストリー・インクは非GAAPベースの2026年度業績を以下の通り引き上げました。

- **収益**は報告書ベースで前年比4%から5%の成長で73億ドル前後。スチュアート・ワイツマン ブランドを除いたプロフォーマ収益は名目ベースで7%から8%の成長を見込んでいます。為替は当該年度の売上高に70ベースポイントのプラスの影響を及ぼす見込みです。これはプロフォーマベースで72億ドル近い収益となり、前年比1桁台半ばの成長となるという前回ガイダンスを上回ります。
- **営業利益率**は前年比50ベースポイント前後の拡大。なお前回ガイダンスでは前年を上回る増加の見込みでした。この見通しでは約280ベースポイントの基礎的な利益率拡大が反映されており、引き続き約230ベースポイントの関税及び諸税によるマイナス影響が織り込まれています。
- **支払利息の総額**は前回ガイダンスと同じく約6,500万ドル。
- **税率**は前回ガイダンスと同じく約18%。
- **希薄化後の加重平均株式数**は前回ガイダンスの2億1,300万株に対して約2億1,200万株。
- **希薄化後 1株当たり利益**は7%から10%の前年比成長率を反映して5.45ドルから5.60ドルの範囲。前回ガイダンスの5.30ドルから5.45ドルの範囲から上昇しています。
- **調整後フリーキャッシュフロー**は前回ガイダンスの13億ドル弱に対して13億ドル。

この見通しは以下を前提としていることにご留意ください。

- 2025年11月1日時点の米国の通商政策及び税制と、OECD提案のPillar 2ガイダンスが施行されないことを反映しています。
- 外貨換算レートは予測時点でのスポットレートによるものです。
- インフレ圧力や消費者心理の大幅な悪化がない想定です。
- 2025年8月4日に完了したスチュアート・ワイツマン ブランド売却に伴う一時的な費用、2026年度の所有期間における当該ブランドの業績は含みません。スチュアート・ワイツマン ブランドの除外が2026年度の営業利益及び希薄化後1株当たり利益に与える影響は軽微と見込んでいます。
- タペストリー・インクの組織効率化の取り組みに伴う非経常的費用を除きます。

これら及びその他の外的要因の動的な性質を鑑みると、業績が今回の見通しから大きく異なる可能性があります。

業績見通し: 非GAAP への調整

タペストリー・インクは、本プレスリリース及びカンファレンスコールにおいて提示された非GAAP財務指標をGAAPと完全に調整して提供することができません。これは指標に影響を与える特定の重要項目がまだ発生しておらず、現時点で合理的に見積もることができないためです。従って、タペストリー・インクの非GAAP財務指標のガイダンスのGAAP指標との調整は非論理的な手続きなく提示し得ません。

カンファレンスコールについて

タペストリー・インクは、本日 2025 年 11 月 6 日午前 8 時 00 分(米国東部標準時)に、今回発表の業績についてのカンファレンスコールを実施します。ご関心のある方は、インターネットにてライブのウェブキャスト www.tapestry.com/investors にアクセスされるか、カンファレンスコール(1-866-847-4217 または 1-203-518-9845 にダイヤルし、カンファレンス ID 7269452 を入力してください)へお申し込みください。電話による再放送(1-800-283-4641 または 1-402-220-0851 にダイヤル)は同日の米国東部標準時、正午より 5 営業日の間お聞きいただけます。ウェブキャストの再放送はタペストリー・インクのウェブサイト上で 5 営業日の間アクセスすることができます。業績説明資料も www.tapestry.com/investors でご覧いただけます。

今後の予定について

タペストリー・インクの 2026 年度第 2 四半期の業績発表は、2026 年 2 月 5 日(木)の予定です。

今後お知らせを受信されたい方は www.tapestry.com/investors (“Subscribe to E-Mail Alerts”)にご登録をお願いします。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチとケイト・スペード ニューヨークの魅力を集結させた、アイコニックなアクセサリー&ライフスタイル ブランドを展開するグローバル企業です。個々の象徴的ブランドがひとつになることで無限の可能性を追求し、ブランド単独では到達できない領域をさらに発展させて新たな地域や世代へとリーチを拡大します。お客様からインスピレーションを得て、ブランドへの永続的な愛着を育み、日々の生活を豊かにするエクスペリエンスと製品を創出しています。タペストリー・インクの詳細については <http://www.tapestry.com>（英語のみ）をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル TPR で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

経営陣は非 GAAP 及び恒常通貨の指標を使って事業を行い、該当期間に関する営業成績の定期報告の間に事業を評価し、会社のリソース及び業績に関する意思決定を行います。タペストリー・インクは、これらの期間比較ができない項目を除く非 GAAP 指標を提示することは、投資家及びその他の人々が会社の継続的な営業成績や財務結果を経営陣の業績評価と一致する方法で評価し、それらの結果を会社の過去の業績と比較して理解する上で役立つものと確信しています。さらにタペストリー・インクはこれら指標を恒常通貨ベースで表示することは、前年比の為替レートの変動がこれら業績指標に与える重大な影響について投資家及びアナリストの理解を助け、これらの影響を除外した場合の業績及び業績見込みを評価する枠組みを提供するものと確信しています。

タペストリー・インクは米国会計基準(GAAP)に従って情報を報告しています。経営陣が、非 GAAP 財務指標を、GAAP に基づいて作成された財務情報から切り離して単独で評価したり、その代用とすることは無く、投資家にそれを推奨するものでもありません。また、タペストリー・インクが用いた非 GAAP 指標はタペストリー・インク特有のものである場合があり、他社が用いる非 GAAP 指標とは異なる場合があります。

タペストリー・インクはグローバルに事業展開しており、財務業績は GAAP に基づいて米ドル建てで報告しています。タペストリー・インク及び各セグメントの純売上上の増減率は、外貨建て売上上の米ドル換算による為替変動の影響を算入・除外し、前四半期及び前年同期と比較して表示しています。タペストリー・インクは、前期の月平均の換算レートを使用して当期の純売上を現地通貨に換算することで恒常通貨ベースでの純売上を算出しています。2025 年 8 月 4 日に完了したスチュアート・ワイツマン ブランド売却により、タペストリー・インクは当四半期及び前年同期の両期間のスチュアート・ワイツマン ブランドの売上高を除外したプロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率を提示しています。プロフォーマ収益情報の概要では、中国全体に中国本土、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区が含まれます。その他アジア諸国にはマレーシア、オーストラリア、韓国、シンガポール、主にアジアに位置するその他の国が含まれます。その他は主にライセンスパートナーからのロイヤリティー収入と中東の売上を示しています。

下記の連結セグメントデータ及び GAAP から非 GAAP への調整に記載されているセグメントの営業利益及びセグメントデータ補足の販売管理費は、報告書記載の販管費率及び営業利益率と同様に非 GAAP の指標とみなされます。これらの指標は、2025 年 9 月 27 日終了の 3 か月間の買収及び売却の費用、組織効率化費用について含む場合と含まない場合の両方で表示されており、2024 年 9 月 28 日終了の 3 か月間の買収費用について含む場合と含まない場合の両方で表示されています。また、営業利益(損失)、支払利息、その他の支出(収入)、法人税等、純利益(損失)、希薄化後 1 株当たり純利益(損失)は、2025 年 9 月 27 日終了の 3 か月間の買収及び売却の費用、組織効率化費用について含む場合と含まない場合の両方で表示されており、2024 年 9 月 28 日終了の 3 か月間の買収費用について含む場合と含まない場合の両方で表示されています。

タペストリー・インクは、非 GAAP の指標である調整後フリーキャッシュフローも提示しており、営業活動によって得られた(使用された)正味キャッシュフローから固定資産の取得額を差し引き、比較可能性に影響を与える項目である買収及び売却費用と組織効率化費用のうち、現金支出に該当し販売管理費として計上される費用と、比較可能性に影響を与える項目の営業資産及び負債の増減を加えて算出しています。タペストリー・インクは、調整後フリーキャッシュフローが、営業支出、事業への投資及び比較可能性に影響を及ぼす項目に対する資本支出後に利用可能なキャッシュを示す重要な流動性の指標だと考えています。また調整後フリーキャッシュフローはタペストリー・インクのキャッシュの創出力や支払能力を評価するために投資家にも有用であると考えています。タ

ペストリー・インクの事業上の資金需要や債務が充足されれば、キャッシュは強固な財務基盤の維持、将来的な成長に向けた投資、株主への資本還元に使用できます。

タペストリー・インクは非 GAAP の指標であるレバレッジ比率も提示しており、1 年内返済予定長期借入金と長期借入金を含む負債の合計である負債総額を過去 12 か月間の調整後 EBITDA で割って算出しています。調整後 EBITDA は、支払利息の総額、負債の消滅による損失、法人税等、減価償却費、クラウドコンピューティングの償却、株式報酬費用、買収及び売却費用、組織効率化費用、減損を含む比較可能性に影響を与える項目を除いた純利益（損失）です。タペストリー・インクは、レバレッジ比率は当社の盤石な財務基盤及び信用度を評価する重要な指標であり、投資適格格付けへのコミットメントを示す指標だと考えています。

負債の総額は、1 年内返済予定長期借入金と長期借入金から、現金及び現金等価物、短期投資を差し引いた負債総額として算出しています。

###

財務諸表 1: 連結損益計算書

タペストリー・インク

連結損益計算書

2025年9月27日及び2024年9月28日終了の四半期

(単位: 百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く)

(未監査)

	下記期日に終了の四半期	
	2025年9月27日	2024年9月28日
売上高	\$ 1,704.6	\$ 1,507.5
売上原価	404.1	372.6
売上総利益	1,300.5	1,134.9
販売管理費	972.3	882.9
営業利益(損失)	328.2	252.0
支払利息	12.8	30.7
その他の支出(収入)	(3.3)	(4.4)
税引前利益(損失)	318.7	225.7
法人税等(便益)	43.9	39.1
純利益(損失)	\$ 274.8	\$ 186.6
1株当たり純利益(損失)		
基本	\$ 1.32	\$ 0.81
希薄化後	\$ 1.28	\$ 0.79
1株当たり純利益(損失)の算出で使用了株式数		
基本	207.6	231.5
希薄化後	215.5	235.9

財務諸表 2: 売上高内訳

タペストリー・インク

売上高内訳

2025年9月27日及び2024年9月28日終了の四半期

(単位: 百万ドル)

(未監査)

	下記期日に終了の四半期		増減率	恒常通貨ベースの増減率
	2025年9月27日	2024年9月28日		
コーチ	\$ 1,429.8	\$ 1,170.6	22 %	21 %
ケイト・スペード	260.2	283.2	(8)%	(9)%
スチュアート・ワイツマン	14.6	53.7	(73)%	(73)%
タペストリー合計	\$ 1,704.6	\$ 1,507.5	13 %	12 %
タペストリー合計のプロフォーマ財務情報 ¹	\$ 1,690.0	\$ 1,453.8	16 %	16 %

¹ プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、スチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。

財務諸表 3 及び 4: 連結セグメントデータ及び GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク				
連結セグメントデータ及びGAAPから非GAAPへの調整				
(単位: 百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く)				
(未監査)				
2025年9月27日終了の四半期				
比較可能性に影響を与える項目				
	GAAPベース (報告書)	買収及び 売却費用*	組織効率化 費用**	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上総利益				
コーチ	1,126.0	—	—	1,126.0
ケイト・スペード	166.8	—	—	166.8
スチュアート・ワイツマン ⁽¹⁾	7.7	7.7	—	—
売上総利益	\$ 1,300.5	\$ 7.7	\$ —	\$ 1,292.8
販売管理費				
コーチ	638.6	—	1.2	637.4
ケイト・スペード	161.2	—	0.2	161.0
スチュアート・ワイツマン	8.7	8.7	—	—
会社	163.8	13.7	9.6	140.5
販売管理費	\$ 972.3	\$ 22.4	\$ 11.0	\$ 938.9
営業利益(損失)				
コーチ	487.4	—	(1.2)	488.6
ケイト・スペード	5.6	—	(0.2)	5.8
スチュアート・ワイツマン	(1.0)	(1.0)	—	—
会社	(163.8)	(13.7)	(9.6)	(140.5)
営業利益(損失)	\$ 328.2	\$ (14.7)	\$ (11.0)	\$ 353.9
支払利息	12.8	(0.1)	—	12.9
その他の支出(収入)	(3.3)	0.1	—	(3.4)
法人税等	43.9	(1.3)	(2.1)	47.3
純利益(損失)	\$ 274.8	\$ (13.4)	\$ (8.9)	\$ 297.1
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 1.28	\$ (0.06)	\$ (0.04)	\$ 1.38

⁽¹⁾ 2026年度第1四半期における2025年8月4日の売却完了前のスチュアート・ワイツマン事業の売上高は1,460万ドル、売上原価は690万ドルでした。

* スチュアート・ワイツマン事業売却に伴いタペストリー・インクが負担した費用

** 主にテクノロジー費用や退職費用に関連する組織効率化費用

タペストリー・インク
連結セグメントデータ及びGAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く)
(未監査)

2024年9月28日終了の四半期			
比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース (報告書)	買収費用*	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価			
コーチ	916.1	—	916.1
ケイト・スペード	189.6	—	189.6
スチュアート・ワイツマン	29.2	—	29.2
売上総利益	\$ 1,134.9	\$ —	\$ 1,134.9
販売管理費			
コーチ	529.5	—	529.5
ケイト・スペード	162.6	—	162.6
スチュアート・ワイツマン	36.6	—	36.6
会社	154.2	33.4	120.8
販売管理費	\$ 882.9	\$ 33.4	\$ 849.5
営業利益(損失)			
コーチ	386.6	—	386.6
ケイト・スペード	27.0	—	27.0
スチュアート・ワイツマン	(7.4)	—	(7.4)
会社	(154.2)	(33.4)	(120.8)
営業利益(損失)	\$ 252.0	\$ (33.4)	\$ 285.4
支払利息	30.7	37.4	(6.7)
税引当金	39.1	(15.8)	54.9
純利益(損失)	\$ 186.6	\$ (55.0)	\$ 241.6
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 0.79	\$ (0.23)	\$ 1.02

* 先に中止したカプリ・ホールディングス・リミテッド買収計画に伴いタペストリー・インクが負担した費用

財務諸表 5: 連結(要約)貸借対照表

タペストリー・インク
連結(要約)貸借対照表
2025年9月27日及び2025年6月28日現在
(単位: 百万ドル)

	(未監査) 2025年9月27日	(監査済) 2025年6月28日
資産		
現金及び現金等価物、並びに短期投資	\$ 743.2	\$ 1,119.6
売掛金	289.5	239.3
棚卸資産	1,018.6	860.7
その他流動資産	569.4	509.6
売却目的で保有する資産	—	176.4
流動資産合計	2,620.7	2,905.6
有形固定資産(減価償却後)	487.5	489.5
オペレーティングリース使用権資産	1,394.9	1,331.0
その他固定資産	1,860.2	1,854.4
資産合計	<u>\$ 6,363.3</u>	<u>\$ 6,580.5</u>
負債及び資本		
買掛金	\$ 495.5	\$ 456.1
未払債務	657.9	736.9
短期オペレーティングリース負債	308.6	299.0
1年内返済予定長期借入金	256.8	16.7
売却目的で保有する負債	—	48.2
流動負債合計	1,718.8	1,556.9
長期借入金	2,378.6	2,377.9
長期オペレーティングリース負債	1,255.3	1,205.6
その他負債	611.1	582.3
株主資本	399.5	857.8
負債及び資本合計	<u>\$ 6,363.3</u>	<u>\$ 6,580.5</u>

財務諸表 6: 連結(要約)キャッシュフロー計算書

タペストリー・インク
連結(要約)キャッシュフロー計算書
2025年9月27日及び2024年9月28日現在
(単位: 百万ドル)

	(未監査) 2025年9月27日	(未監査) 2024年9月28日
営業活動によるキャッシュフロー		
当期純利益(損失)	\$ 274.8	\$ 186.6
当期純利益から営業活動によるキャッシュフローへの調整		
減価償却費	37.2	40.9
クラウドコンピューティング契約の償却	14.4	14.0
その他の非現金項目	78.1	0.5
営業資産及び負債の変動額	(291.9)	(122.5)
営業活動から生じた(に使用した)現金	112.6	119.5
投資活動によるキャッシュフロー		
有価証券の取得	(8.4)	(1,479.2)
固定資産の取得	(32.4)	(25.6)
事業売却による収入: 譲渡した現金を除く総額	109.6	—
投資有価証券の償還及び売却による収入	0.5	1,694.9
投資活動から生じた(に使用した)現金	69.3	190.1
財務活動によるキャッシュフロー		
配当金の支払	(83.3)	(81.4)
自己株式の取得	(698.2)	—
コマーシャルペーパー発行による収入(償還による支出)純額	240.0	—
その他	(9.3)	6.9
財務活動から生じた(に使用した)現金	(550.8)	(74.5)
為替相場変動の現金及び現金等価物に対する影響	(11.6)	85.8
現金及び現金等価物の純増(純減)	(380.5)	320.9
現金及び現金等価物の期首残高	\$ 1,100.0	\$ 6,142.0
現金及び現金等価物の期末残高	\$ 719.5	\$ 6,462.9

財務諸表 7: 調整後フリーキャッシュフロー GAAP から非 GAAP への調整

タベストーリー・インク
調整後フリーキャッシュフロー
GAAPから非GAAPへの調整
2025年9月27日及び2024年9月28日終了の四半期
(単位: 百万ドル)
(未監査)

	下記期日に終了の四半期	
	2025年9月27日	2024年9月28日
営業活動による正味キャッシュフロー (GAAP)	\$ 112.6	\$ 119.5
固定資産の取得	(32.4)	(25.6)
比較可能性に影響を与える項目: 買収及び売却費用	14.6	70.8
比較可能性に影響を与える項目: 組織効率化費用	8.3	-
比較可能性に影響を与える項目の営業資産及び負債の変動	-	-
未払負債	(0.4)	(130.7)
その他の固定資産	-	1.5
その他の負債	-	-
買掛金	-	5.5
調整後フリーキャッシュフロー (非GAAP)	\$ 102.7	\$ 41.0

調整後フリーキャッシュフローは、営業活動によって得られた(使用された)正味キャッシュフローから固定資産の取得額を差し引き、比較可能性に影響を与える項目である買収及び売却費用と組織効率化費用のうち、現金支出に該当し販売管理費として計上される費用と、比較可能性に影響を与える項目の営業資産及び負債の増減を加えて算出しています。

財務諸表 8: 調整後 EBITDA 及びレバレッジ比率 GAAP から非 GAAP への調整

タベストーリー・インク
2025年9月27日終了の過去12か月(TTM)の調整後EBITDA及び2025年9月27日現在のレバレッジ比率
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル)
(未監査)

	下記期日に終了の四半期				TTM
	2024年12月28日	2025年3月29日	2025年6月28日	2025年9月27日	2025年9月27日
純利益(損失): (GAAP)	\$ 310.4	\$ 203.3	\$ (517.1)	\$ 274.8	\$ 271.4
以下、調整項目					
支払利息	24.5	15.4	14.8	12.8	67.5
負債の消滅による損失	120.1	—	—	—	120.1
法人税等	34.9	35.8	(76.9)	43.9	37.7
減価償却費	40.9	38.0	43.1	37.2	159.2
クラウドコンピューティングの償却	14.6	15.0	18.4	14.4	62.4
株式報酬費用	21.8	24.2	22.2	22.4	90.6
比較可能性に影響を与える項目: 買収及び売却費用	55.4	18.6	5.1	14.7	93.8
比較可能性に影響を与える項目: 組織効率化費用	—	5.0	12.2	11.0	28.2
比較可能性に影響を与える項目: 減損費用	—	—	854.8	—	854.8
調整後EBITDA (非GAAP)*	\$ 622.6	\$ 355.3	\$ 376.6	\$ 431.2	\$ 1,785.7
2025年9月27日現在の負債総額 **					\$ 2,635.4
2025年9月27日現在のレバレッジ比率 ***					1.5

* 調整後EBITDAは、支払利息の総額、負債の消滅による損失、法人税等、減価償却費、クラウドコンピューティングの償却、株式報酬費用、比較可能性に影響を与える項目の買収及び売却費用、組織効率化費用、減損費用を除いた純利益(損失)です。

** 負債総額には2025年9月27日現在の1年内返済予定長期借入金と長期借入金が含まれます。

*** レバレッジ比率は、2025年9月27日現在の負債総額を2025年9月27日までの過去12か月間の調整後EBITDAで割って算出しています。

財務諸表 9: ブランド毎の店舗数

<p>タペストリー・インク</p> <p>店舗数</p> <p>2025年6月28日及び2025年9月27日現在</p> <p>(未監査)</p>				
直営店舗数:	2025年 6月28日現在	出店数	(閉店数)	2025年 9月27日現在
コーチ				
北米	324	3	(1)	326
海外	607	8	(7)	608
ケイト・スペード				
北米	189	—	(1)	188
海外	171	3	(4)	170

###